

豊岡水害を経験して

豊岡北中学校二年 山口 真理

私は豊岡の水害に遭うまでは水害や台風とかがどれだけ大変だとか全く実感がありませんでした。

1
ただけど、豊岡が水害に遭いとても大変な事が分かりました。家の基本的な家庭用具などもすべて流され、床下・床上まで水が入ったりしました。その時の事は今でも覚えています。怖くて怖くて、今後の自分がどうなるのかなんて考えられませんでした。

2
頭の中で、たくさんの不安がよぎりました。水が止まり、食べる物もなくなり、電気までもが止まりました。

そんな時一つの助けが訪れました。

それはボランティアの仲間です。水害に遭った豊岡を見て、遠くから食料・水・家庭用具などを送って下さったりしました。

私は暗い気持ち少しずつ消えていくのが分かりました。今まではこんな事考えなかつ

たのに、ボランテイアの人の温かいバに応援
され、私の「頑張るぞ!!」という大きなパワ
ーへとなっていていきました。

水害がおさまり、私はこれが「幸せ」って
言うんだなあ、と思いました。色んな人に励
まされ、たくさんの人に勇気をもらい、「感
謝の気持ちでいっぱいです。」

水害を経験し、私の中で変わったのは、バ
の面です。少ないお金でもたった10円、5円
でも、募金箱を見ると募金をするようになり

ました。それは私がどんなに励まされたか知
ってほしいから。それ以上にならない「幸せ」を
分かってほしいから：という気持ちからです
今のこの気持ちを大切にし、大人になって
も決っして忘れてはならないものだと思いま
す。

「幸せって何だろう？」
「皆が励まし合い生きていける事」と私
は答えたい。